

シンポジウム

今回の企画にあたり

東日本大震災の被災地の現状や取り組みから学びながら、私たちの住む富山の防災や災害時に関する対策等について、どのように取り組まれているのかを私たちと寺院関係者で協働して調べ、実際に起きた時の災害を考え、備えていけるきっかけにしたいと思っています。

また、富山における災害時の障害者や高齢者・子ども（要援護者）に対する支援ネットワーク構築の土台作りを目的に、このシンポジウムの企画を行います。

パネラー

- ・被災障害者の立場から
いわき自立生活センター
小野 和佳さん
- ・被災者を支援している寺院の立場から
東北教区災害ボランティアセンター
コーディネーター長
北海道教区後志組
東林寺 住職
山階 照雄さん
- ・被災地支援の立場から
NPO法人 ゆめ風基金
理事 八幡 隆司さん



東日本大震災から富山における障害者や高齢者・子ども（要援護者）の支援を考える！

「あの震災から一年・現地からの報告」

期日: 2012年
2月25日(土)

会場: サンシップとやま
(602~604号室)

参加費: 500円

時間: 午後1時~午後4時30分

《当日のプログラム》

- 12:30 受付開始
- 13:00 シンポジウム開始 主催者挨拶等
- 13:15~14:45 3人のパネラーの発言
- 14:45~15:45 共通テーマでの討論
- 15:45~15:55 休憩
- 15:55~16:25 質疑応答
- 16:25~16:30 まとめ・終了

ゆめ風ネット富山 趣意書

1995年1月17日に起きた阪神淡路大震災を機に被災障害者救済を目的に、被災地に住む障害者とそれを支援する大阪の障害者たちが中心になって、呼びかけ人には、小室等さん(代表)や永六輔さん(権代表)たちになっていただき、NPO法人「ゆめ風基金」が設立されました。

「ほんとうに必要なところへ確実にしっかり届けたい」ということをモットーに、いち早く正確な情報が得られるネットワーク「ゆめ風ネット」を全国に築き、富山でも「ゆめ風ネット富山」として加盟してきました。

去る3月11日(2011年)の東日本大地震は地震・津波・原発事故という、かつてない自然災害と人災が広い範囲でもたらされています。一瞬のうちに多くの人々の生命が失われ、さらに住居や生活が奪われ、今も原発事故の行方すらわからないまま、不安と恐れの中で避難生活が送られています。

また、地方自治体が機能しなくなったところ、集団で他の市町村に住民と移動しなければならないところが出てきています。

この、戦後最大級の東日本大地震の支援は、今始まったばかりです。地震大国日本において、多くの原発が作られており、災害・事故はいつどこで同じ事が繰り返されるか判りません。

ゆめ風ネット富山は、今回の東日本大地震にゆめ風ネットで被災障害者の支援を「協働」して行います。

主催 **ゆめ風ネット富山** 後援: 富山県・富山市・富山県社会福祉協議会
 共催 浄土真宗本願寺派 永應寺 住職 温井 昭典 浄土真宗本願寺派富山教区教務所
 連絡先 富山市新川原町5-9 レジデンス新川原1階(自立生活支援センター富山 気付) 電話:076-444-3753 Fax:076-407-5557